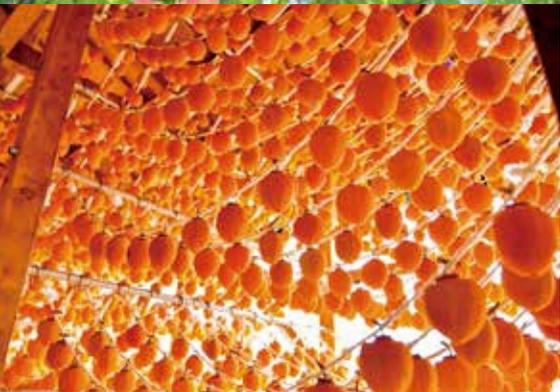




# 地域おこし支援員 活動報告 2021

未来に向けて今私たちができること！





- ✅ 都市地域等から地方に生活拠点を移した人を地方公共団体が「地域おこし協力隊」として任用し、地域の課題解決や地域おこしの支援などを行いながら、その地域への定住・定着を図る総務省の制度です。
  
- ✅ 伊達市ではこの制度を活用し、平成 22 年度から導入しました。独自に「伊達市地域おこし支援員」という名称で任用し、これまで 26 名の支援員が活躍しています。  
(令和 3 年度は 3 名※ 1 名は 6 月末で任期満了により退任)
  
- ✅ 3 年間という任期のなかで、地域で実際に生活しながら、住民の皆さんと一緒に地域の魅力を発見するための活動を行っています。

## 伊達市 月館町布川地区

支援員歴:2年4か月(2020年3月~)

名前:小林 朗子(こばやし あきこ)

### プロフィール

- 東京都板橋区出身
- (元) 趣味:競泳、ヨガ
- OL、調理師を経て管理栄養士となる
- 小規模デイサービスにて機能訓練としての調理指導
- ケータリング会社にてメニュー開発
- 特定保健指導で生活習慣病改善支援



## 来てみたらわかったことが **イイ!** 伊達市の **魅力**



そんな自然の中で暮らす人たちだからこそ納得の人柄皆さんは知っていますか？  
自分たちの町が美しいことを。

# 地域の皆さんといっしょに!



## わたしの取り組み

- ・月館町内マルシェ企画運営、出店
- ・月館町外マルシェ出店、町と小麦粉の認知活動
- ・製菓・製パンサークルの運営及び販売、イベント出店
- ・オンラインパン教室、イベント
- ・ゲストハウスメニュー開発
- ・ふくしまティーチャリングツアー  
料理体験教室

## 2021 頑張ったとしてきました!

### 1 地域の皆さんとの交流

コロナで出不精になった町民に買い物へ出かけてもらおうと企画した町内マルシェ。同時期に作った製菓・製パンサークルでは月館町産の小麦粉を使ったお菓子とパンの技術講習を行い、マルシェでも販売を行ってきました。

自分が技術提供してきたのは、職業病持ちで、調理第一線で活動することができないから。支援員の任期を終えたとしても、その技術が残せたらという思いで活動してきました。

じっちとばっパと  
まるしえにきたヨ



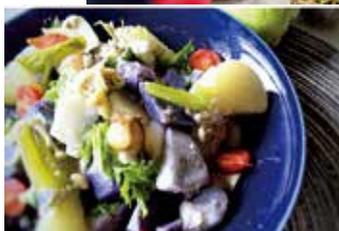
## 2 首都圏の学生の受け入れ

子どもの教育に関心のある首都圏の大学生を受け入れました。

地域と交流を深め、伊達市の魅力再発見や第2のふるさと作りが目的の1つ。

月館町で採れた食材を使った料理やパン作りを行いました。

ここでの体験が記憶に残り、いつの日か伊達市へ再訪することを心待ちにしています。



ふくしま  
ティーチャリング  
ツアー  
料理体験教室

## 3 月館町産小麦粉の町外活用

コロナ禍で対面での活動が制限された中、オンラインのパン教室やイベントを開催するようになりました。

生徒さんの中には、マルシェでハンバーガー販売の際バンズを担当され、ゆめちからが月館町をでて活躍の場が広がっています。



# 地域の皆さんといっしょに!

## 4 Zoomを使ったオンラインレッスンオンラインワークショップ

### ■ オンラインパン教室



### ■ 甘味料不使用 "噛む" チョコレートワークショップ



## 5 思い出スナップ



## 伊達市 富成地区

支援員歴：1年（2021年4月～）

名前：佐藤 紅里（さとう あかり）

### プロフィール

- 宮城県仙台市出身
- 趣味：麻雀
- 宮城県農業大学校卒業後すぐに着任
- 園芸学部で果樹の栽培管理を勉強



## 来てみたらわかったことが **イイ!** 伊達市の **魅力**

### 1 人のあたたかさ

→ 気さくに声をかけてもらえる **安心感**

### 2 豊かな自然

→ たくさんの緑に囲まれ景色が **綺麗**

### 3 新鮮な農作物

→ 野菜・果物・花・米の栽培 **バランスが良い**



# 地域の皆さんといっしょに!



富成ばんかた市の様子

## わたしの取り組み

地域自治組織と連携しながら様々な活動を行いました。新たに開始したイベント「富成ばんかた市」では地域の交流の場として喜ばれています。「ばんかた」とは方言で夕方を意味します。地域の方とのつながりを大切にして活動してきた一年間でした。

## 1 地域の花壇作り

花苗を曲線的に植え付け夜間にも楽しめるようソーラーライトを設置しました。珍しい花壇として全国花のまちづくりコンクールにて若葉賞を受賞しました。



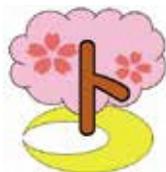
地域の方と植栽をしている様子



夜間に光るソーラーライト

## 2 地域のロゴマーク作成

地域をPRするために公募し作成しました。富成地区にある花見山の桜と、富成の「ト」の文字、伊達市の月のマークが入ったオリジナルのロゴになりました。



3色の缶バッジに商品化



缶バッジ用ガチャガチャマシーン

### 3 あかり新聞の発行

地域の方に名前と顔を覚えてもらうために始めました。地域の情報や地域の魅力を見つけて毎月発行しました。



### 4 思い出スナップ



# 地域の皆さんの声

歯に衣着せぬ



富成地域まちづくり振興会 会長  
湯田 健一さん

昨年4月に着任しすぐに富成に3つの驚きと感激を与えました。1つ、毎月発行の「あかり新聞」。農業についてのアカデミックな情報や日々の本人の頑張りや活動が掲載され、地元の人々を惹きつけました。2つ、富成の「ロゴの選定」。小さな富成がロゴマークを持ったこと、大きな話題となりマスコミにも取り上げられました。3つ、交流館管理の花壇が全国花のまちづくりコンクールで「若葉賞」を獲得。正直、驚きました。私たちは嬉しく誇らしく思っています。農業短大卒業後、すぐに素晴らしい活躍、地元は大きな刺激を受けています。



富成地区 協力員  
二階堂 良知さん

紅里さんは果樹の仕事をしたくて富成に来たとのこと。畑に出て果樹の手入れしている姿を撮影することがあるんですが、交流館事務室で事務作業をするときと違って、本当に生き生きとしてますね。本当に農作業が好きなんだなあと思いながらシャッター切ってます。そして富成地区振興のために色々アイデアを出すだけでなく結果に結び付けているのがすごいなあ、と。私が20歳前後の頃なんて（というより今も）何にも考えずに生きてましたから、余計に。

これからも一緒に  
がんばっぺない！

これからも一緒にがんばっぺない！

## OBからのメッセージ



任期

H25/7 ~ H28/6

保原町富成地区  
小林 誠さん

担当地区唯一の小学校であった富成小学校で、子どもたちや先生方、地域のみなさまと一緒に活動させていただいたことが一番の思い出です。現在も富成地域まちづくり振興会の役員としてお世話になりつつ、伊達市移住コンシェルジュ、首都圏の大学生と伊達市の子どもたちとの交流事業、農産物の6次化商品開発などに従事しております。



任期

H29/4 ~ R 1/3

月舘町糠田地区  
野村 明祥さん

伊達市に移住して早くも6年。仕事は多少変わりましたが、今も地域で出来る事を続けています。支援員の任期は3年。でも地域は3年で卒業も退職もしません。連綿と続く地域とかかわり、見守り続けることで伊達市と、月舘と共に暮らしていきたいと思っております。

心は生涯支援員！地域づくりは終わらない！



任期

H30/7 ~ R3/6

霊山町大石地区  
浜田 和彦さん

30年以上勤めたIT業界から転身してこちらにきましたが、地域の皆様との交流の中で東京では絶対めぐり合えない宝物のような経験をさせていただきました。たった3年間の支援員活動で成果を出すのは至難の技ですが、結果よりも地域に自分を同化させた時の自身の化学反応ぶり楽しむスタンスも重要です。

発行 伊達市役所 未来政策部 協働まちづくり課

日々の活動を発信中！  
伊達市地域おこし支援員(地域おこし協力隊)

メール kyodou@city.fukushima-date.lg.jp

Facebook ページ  
<https://www.facebook.com/dateokoshi>

電話 024-575-2115

検索 伊達市地域おこし支援員 Facebook



ここが好きだから  
私たちががんばります！

